

<意見・要望>

- 車でかつら通りを通行する際、横断者がいるので危険である。工事が滞りなく完成していれば、仮のバリケードをすり抜けて横断する人はいなかったことを、市は自覚してほしい。
- 工事を中止すれば約3億3千万円で済むが、工事を行うと、30年間で約8億3,600万円の費用がかかる。物価が上昇していく一方で、人口も減少していくことから、ここで「やめます」と言ってほしい。
- 立体施設を建設することは賛成です。ヤオコーには小さい子を連れて買い物に行く若い世代も多いと思います。立体施設によって安全に買い物ができることは、この場所に長く住み続けたいというメリットになると思うので、ぜひお願いしたい。
- 工事の納期が見通せない間にもコストが嵩んでいくので、整備を進めていくのであれば、色々な工夫をしてほしい。また、工事現場がこの状況で放置されているのも好ましくないなので、やめるかやめないのかの判断をなるべく早めをお願いしたい。
- 立体施設がスムーズに工事が進んでいけば受け入れていたが、施設の可否で揉めてから不要と思っていました。しかし、安全のことを考えると必要とも思い始めているが、立体施設の維持管理の費用を踏まえると必要ないと考える若い方もいることを伝えておきます。
- 立体施設ができることは賛成です。障がいのある方や高齢者の方々が、立体施設があることで外出するハードルが大きく下がり、社会参加を増やすことにもつながります。  
もし自分や家族が将来そのような立場になったら、利用する可能性があるかと思うので、今整備する必要があると思います。
- 中止による損害額を無駄にせず、地域の環境整備のため実施してもらいたい。既存のマンションも将来の建て替えが必要となるため、市の計画に含めてもらいたいという希望を持っている。